【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成26年1月16日(2014.1.16)

【公開番号】特開2013-9303(P2013-9303A)
【公開日】平成25年1月10日(2013.1.10)
【年通号数】公開・登録公報2013-002
【出願番号】特願2012-43273(P2012-43273)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　19/50　　(2014.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　7/137　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成25年11月26日(2013.11.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ブロック単位で動き補償予測を行う動画像復号装置であって、
復号対象ブロックのブロックサイズが所定の閾サイズより大きい場合、復号済み画像にあるブロックから予測動きベクトル候補を導出し、前記復号対象ブロックのブロックサイズが前記所定の閾サイズ以下の場合、前記予測動きベクトル候補を導出しない予測動きベクトル候補生成部を備えることを特徴とする動画像復号装置。
【請求項２】
ブロック単位で動き補償予測を行う動画像復号方法であって、
復号対象ブロックのブロックサイズが所定の閾サイズより大きい場合、復号済み画像にあるブロックから予測動きベクトル候補を導出し、前記復号対象ブロックのブロックサイズが前記所定の閾サイズ以下の場合、前記予測動きベクトル候補を導出しない予測動きベクトル候補生成ステップを備えることを特徴とする動画像復号方法。
【請求項３】
ブロック単位で動き補償予測を行う動画像復号プログラムであって、
復号対象ブロックのブロックサイズが所定の閾サイズより大きい場合、復号済み画像にあるブロックから予測動きベクトル候補を導出し、前記復号対象ブロックのブロックサイズが前記所定の閾サイズ以下の場合、前記予測動きベクトル候補を導出しない予測動きベクトル候補生成ステップをコンピュータに実行させることを特徴とする動画像復号プログラム。
【請求項４】
ブロック単位で動き補償予測を行うことにより動画像が符号化された符号化ビット列を受信して復号する受信装置であって、
前記符号化ビット列がパケット化された符号化データを受信する受信部と、
受信された前記符号化データをパケット処理して元の符号化ビット列を復元する復元部と、
復号対象ブロックのブロックサイズが所定の閾サイズより大きい場合、復号済み画像にあるブロックから予測動きベクトル候補を導出し、前記復号対象ブロックのブロックサイズが前記所定の閾サイズ以下の場合、前記予測動きベクトル候補を導出しない予測動きベクトル候補生成部とを備えることを特徴とする受信装置。

【請求項５】
ブロック単位で動き補償予測を行うことにより動画像が符号化された符号化ビット列を受信して復号する受信方法であって、
前記符号化ビット列がパケット化された符号化データを受信する受信ステップと、
受信された前記符号化データをパケット処理して元の符号化ビット列を復元する復元ステップと、
復号対象ブロックのブロックサイズが所定の閾サイズより大きい場合、復号済み画像にあるブロックから予測動きベクトル候補を導出し、前記復号対象ブロックのブロックサイズが前記所定の閾サイズ以下の場合、前記予測動きベクトル候補を導出しない予測動きベクトル候補生成ステップとを備えることを特徴とする受信方法。
【請求項６】
ブロック単位で動き補償予測を行うことにより動画像が符号化された符号化ビット列を受信して復号する受信プログラムであって、
前記符号化ビット列がパケット化された符号化データを受信する受信ステップと、
受信された前記符号化データをパケット処理して元の符号化ビット列を復元する復元ステップと、
復号対象ブロックのブロックサイズが所定の閾サイズより大きい場合、復号済み画像にあるブロックから予測動きベクトル候補を導出し、前記復号対象ブロックのブロックサイズが前記所定の閾サイズ以下の場合、前記予測動きベクトル候補を導出しない予測動きベクトル候補生成ステップとをコンピュータに実行させることを特徴とするる受信プログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
本発明のさらに別の態様は、受信装置である。この装置は、ブロック単位で動き補償予測を行うことにより動画像が符号化された符号化ビット列を受信して復号する受信装置であって、前記符号化ビット列がパケット化された符号化データを受信する受信部と、受信

された前記符号化データをパケット処理して元の符号化ビット列を復元する復元部と、復号対象ブロックのブロックサイズが所定の閾サイズより大きい場合、復号済み画像にあるブロックから予測動きベクトル候補を導出し、前記復号対象ブロックのブロックサイズが前記所定の閾サイズ以下の場合、前記予測動きベクトル候補を導出しない予測動きベクトル候補生成部（１３３）とを備える。

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】

本発明のさらに別の態様は、受信方法である。この方法は、ブロック単位で動き補償予測を行うことにより動画像が符号化された符号化ビット列を受信して復号する受信方法であって、前記符号化ビット列がパケット化された符号化データを受信する受信ステップと、受信された前記符号化データをパケット処理して元の符号化ビット列を復元する復元ステップと、復号対象ブロックのブロックサイズが所定の閾サイズより大きい場合、復号済み画像にあるブロックから予測動きベクトル候補を導出し、前記復号対象ブロックのブロックサイズが前記所定の閾サイズ以下の場合、前記予測動きベクトル候補を導出しない予測動きベクトル候補生成ステップとを備える。